●１９８８．３．３号　No.０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA-NEWS

第8回　京都デザイン会議　開催決定

建都１２００年へ――

ライフ・ウォッチング'88

昭和６３年3月27日（日）　登録受付　正午　　開会　1時

日図デザイン博物館

参加費　10,000円　（パーティー代・会議録代を含む、当日持参）

１８０　名定員（ハガキによる申込先着順）

今年は「国際居住年」に当たります。衣食住のすべてにこだわる年です。

今こそ、6年後にせまった建都１２００年に向けて、町おこしの原点である。

“人と住まい”をテーマに語り合おうではありませんか。

京都人が、何にこだわり、どんな住まいぶりで暮らしと取り組むのか。

一人一人のこだわりを語り合い、なごやかなパーティでふれあいましょう。

記念講演：京都・町おこし　京都市助役　木下博夫氏

都の暮らし－－鄙の暮らし　建築家　清家清

9分科会こだわりトークセッション（全員参加・全員発言）　　パーティ

'88．3．3号 No.02
KDA-NEWS

第９回理事会より

［開催日時］昭和６３年２月９日（火）
午後５時３０分～７時
［開催場所］ＫＤＡ・Ｃルーム

柴田献一理事長は「６２年度の期末も近ずきました、多くの議案がありますがよろしくご審議下さい。先日行いました新年会は大盛況でした。皆さんありがとうございました」と述べ理事会に移った。

■　デザイン会議について（柴田理事長）

２月５日（金）に開かれたデザイン会議委員会（鈴鹿芳康委員長　久谷政樹担当理事）の報告。

◎１８０名定員。
◎京都国際居住年推進協議会に後援をお願いした。
◎会費　１０，０００円。
◎テーマ　「ライフウォッチング'８８」
◎講演　「国際居住年と京都」（仮題）
京都市助役　木下博夫氏（内定）
「都の暮し－鄙の暮し」（仮題）
建築家　清家　清氏（交渉中）
◎分科会　“ライフウォッチング”
「私のこだわり」　８分科会
コーディネーター　８名
・分科会パネラー等は次回「京デ協」会議に於いて決定。（２／１２）
・ＫＤＡ準備委員会で今手配中
・ポスター、キャッチフレーズは今西氏担当。
◎懇親パーティー

デザイン会議共出金５０，０００円については全理事により承認。

■　デザインコンペ委員会について

・今後のデザインコンペについての準備委員会で運営していきたい。反省等をふまえて、来年度につなげる。メンバー設定については、嶋、西脇、藤田、今西、伊部、久谷、中村、奈良、鈴鹿、柴田で行う。（主に学校の先生を主体にたたき台を作り、審査員と合流し概略を決める。）
・２月中に審査委員会も開く。
・市より学校のカリキュラムを作成してもらい、それにもとずいて話し合う。
２月２２日（月）準備委員会
２月２６日（金）審査委員会

■　役員（理事）選挙管理委員会について

・総会を５月末か６月初めに開催する必要があるので、それまでに役員を改選してしまわなくてはならない。
・役員改選のための選挙管理委員会を発足させる。
・常務理事会は選挙管理委員として樽家、鈴鹿、奈良、真鍋氏を推挙した。
・理事会はこれを承認し、委嘱状を発行する。
・選挙管理委員会に於いて選挙方法を立案し理事会に計り、選挙を実施する。

■　一般報告

■　その他

・委員会報告として賛助会員の会（松の実会）について岡本委員長より開催の趣旨、時期等についての提案があったが、いきなり賛助会員の方々に呼び掛けても集まって戴ける可能性がうすいので、賛助会員の会のベース作りのプランニングを岡本委員長と理事長が中心にすすめていくことになった。
・３月８日に開催される、京都誂友禅の審査会の審査員に岡本理事を派遣する事に決定、

KDA-NEWS
'88.3.3号 No.03

さらに、２０，０００円の協賛金を支出することを承認。

・６２年度より委員会制度で運営してきた。期末が近くなったので３月の理事会までに決算報告、事業報告、来期事業計画、予算案について各委員会で話し合い、提出してもらうことに決定。

・家賃の値上げについて、１か月134,000 円から138,700 円にしてもらいたいと家主より依頼書類が来ている。各理事により承認。

・尾崎財務担当理事より、会費に関する報告提案があった。今期の会費未収分は支払って戴くよう手続き進行中。来期より会費の自動引き落とし制度を導入したい。案としては（４月～９月）（１０月～３月）の２期に分けて引き落とす方向で考えていきたい。さらに実施に向けて検討して戴くことになった。

・理事長より事務局員人事について。事務局の田中さんが結婚される事になり、当面は働いてもらえるが、いつまでもと言う訳にはいかないだろうから、いい人材を本気で探す必要があると提案があった。事務局長にもなれる有能な人材を目標に探すことになった。

第２７回 デザインコンペ 準備委員会

昭和６３年２月２２日（月）午後４時～
出席者
ＫＤＡ：柴田献一　西脇友一　今西慧
嶋高宏　藤田頼伯　奈良磐雄
鈴鹿芳康
宮川万樹夫　阿部コウイチ
大原雄寛（成安女子短大）
京都市：伝統産業課　岩崎

京都デザインコンペも２６回を数え、２７回目を迎えるに当たり、反省点を整理し、応募者の減少にはどめをかけ、より実りの多いコンペにするために、早々と準備委員会が開催された。

応募者の大半は学生が占めているため、昨今のデザイン界の現状と照らし合わせ、ジャンルや審査員を含め根本的な見直しを計る方向で計画を立てていくことで合意した。

具体案作成は、次回２月２６日（金）の委員会から始められる。

選管委スタート

社団法人京都デザイン協会の新役員（理事）選挙に関わる選挙管理委員会の委員が理事会により委嘱され、第１回選挙管理委員会が３月１日（月）４時より開催された。樽家紀治、鈴鹿芳康、奈良磐雄、真鍋宗平各委員が互選し、樽家氏を選挙管理委員長に決定。前回の選挙管理委員会（尾崎要委員長、大木ミヤ子、松原醇子各委員）よりの申し送り事項を参考に新たな方針を立て、次回理事会に計り選挙を実施する事になった。

■スケジュール予定
○３月中旬　理事会に方針案を計る
方針決定後直ちに投票用紙郵送
○４月下旬　開票

事務局からのお願い

先日実施されました京都工芸土産品組合とのジョイント展の終了後、扇面を扇仕立に発注された会員の方は、仕立て上がっていますので、至急代金（一本１，０００円）持参の上事務局まで取りにお越し下さい。（田中）

●１９８８．３．３１号　No.０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA-NEWS

第8回　京都デザイン会議

建都１２００年へ――

ライフ・ウォッチング'88



柴田献一議長



木下博夫氏



清家清氏

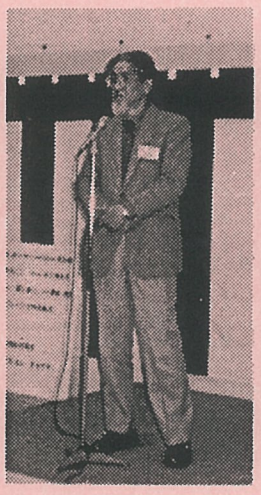
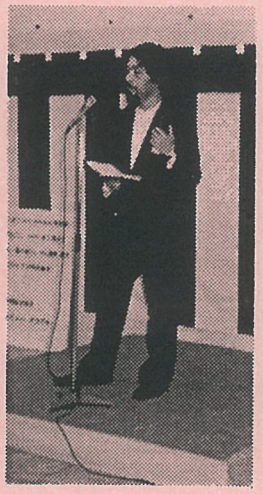
昭和63年3月27日(日)　登録受付　正午　開会　1時　日図デザイン博物館

京都デザイン関連団体協議会＜京デ協＞（議長　柴田献一ＫＤＡ理事長）が主催する第８回「京都デザイン会議」が去る３月２７日（日）午後１時より日図デザイン博物館で開催された。今年は「国際居住年」に当り、６年後にせまった建都1200年に向けて、町おこしの原点である“人と住まい”をテーマに語り合った。１５０名程の参加者の前で、柴田議長が開会挨拶をした後ち、京都市助役木下博夫氏が『京都・町おこし』の基調講演で、京都の都市作りの４つの柱、文化、国際化、福祉（高齢化社会）、広域化について考えを述べ、続いて建築家　清家清氏が『都の暮らし－鄙（ひな）の暮らし』の基調講演で、「文化的」ということを辞書の解説から「西洋風なること、また、新しがること」と書いてあると紹介、日本が人間関係、人間を考えるよりも技術的な進歩に重きを置いて現在まで突き進んできた経緯を、東北地方の“嫁殺しかまど”などの判りやすい例えを用いて解

説、村はどんどん都会に侵蝕され植民地文化的様相を呈しており滅ぶ方向にある。京都人は新しもの好きのところがあるが、どうして東京やニューヨークの真似をするのか判らないと問題提起をされた。基調講演のあとコーヒーブレイクがあり、続いて９つの分科会に別れ夫々のテーマでトークセッションが熱っぽく行われた。５時過ぎからは分科会のトークリーダーが簡単な総括を行い、実りの多い分科会の様子が報告された。６時からは会議参加者による親睦パーティが今西実行委員長の挨拶、京都府商工部染織工芸課　主幹　辻本泰弘氏の祝辞、京都市商工部伝統産業課部長　山田富男氏の祝辞及び乾杯でスタート。パーティの仕出しはルレ・オカザキからの本格的フランス料理で、熱っぽい会議の後で皆がエネルギーを消耗していたのか１時間足らずで平らげてしまった。今西氏の口利きで焼酎“いいちこ”の差し入れもあった。最後は小川氏の威勢の良い一本締めで目出度くお開きとなった。

＊この会議の詳細は５月末に発刊予定の会議録に掲載されます。







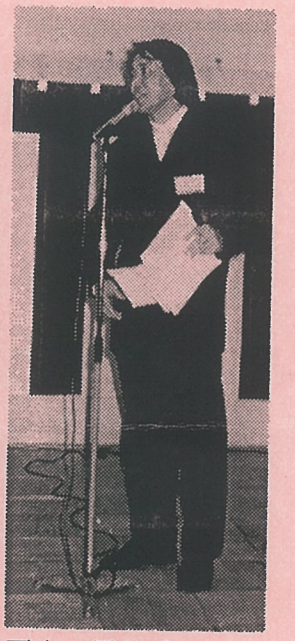


分科会トークリーダー　上左から　三浦けい子氏　梅棹まやお氏　川端道喜氏
小倉一夫氏　森本武氏　吉田孝次郎氏　野間美輪子氏　山口昌伴氏　平田滋氏

'88. 3. 31号 No.03
KDA-NEWS


今西実行委員長


司会　本郷氏


司会　黒竹氏


パーティ会場

選管委よりのお願い

３月２４日（木）の理事会で承認を受けました選挙方法により社団法人京都デザイン協会の新役員（理事）選挙を行います。会員の皆様に投票用紙を送らせていただきますので投票要項そってご記入の上、４月１５日（消印有効）までに事務局まで御返送下さいますようお願い致します。

62年度（社）京都デザイン協会

総会

5月31日（火）

KDA-NEWS
'88．3．31号 No.04

第１０回理事会より

［開催日時］昭和６３年３月２４日（木）
午後５時３０分～７時
［開催場所］ＫＤＡ・Ｃルーム

柴田献一理事長は「６２年度最後の理事会です。どうぞよろしくご審議下さい」と挨拶し理事会に移った。

■「第８回京都デザイン会議」について

昭和６３年３月２７日（日）に開かれる「第８回京都デザイン会議」のプログラムが提出され、それにもとずいて審議し、了承された。

＊タイムスケジュール

９：００　会場設営スタート
１０：００　委員・各分科会担当者集合
１１：００　昼食（弁当）
１２：００　トークリーダー集合
登録受付開始
１３：００　開会並びに会議次第説明　柴田氏
１３：１０　「京都・町おこし」講演　木下氏
１３：４０　「都の暮し－鄙の暮し」　清家氏
１４：４０　コーヒーブレイク
１５：００　９分科会トークセッション
１７：００　９分科会３分間総括　リーダー
１８：００　パーティ
２０：００　閉会

＊実行委員会　当日役割

［総括］　今西
［来賓接待・案内］　柴田　今西
［分科会担当］　嶋　黒竹　伊部
谷口　恩地　中村
道家　奈良　みね
［パーティ司会］　黒竹
［受付］　ＫＤＫ
［会計］　谷口　尾崎
［会場運営］　熊谷　大野
［会議録・記録］　岸本　道家
［写真］　岸本

＊その他

・分科会記録
・招待者リスト　祝辞者リスト　ネームプレート　事務局　今西

＊参加者状況（３／２４現在）

有料　１４０　招待　７　合計１４７名

前回よりも増える見込みではあるが、尚一層の動員に対する御協力をお願いしたい。

パンフレットの印象が、デザイン関係者への参加呼び掛けという感が強いので、一般市民に対する参加呼び掛けのアピールをもうすこし強力にする必要があるのではといった意見を聞くので検討してもらいたい。

■　６３年度役員選挙について

選挙管理委員会（樽家委員長）で立案された選挙方法についての報告と審議。

１．投票は１０名以上２０名までの記入を有効とする。
２．氏名誤記については、誤記分のみ無効とする。
３．開票会は正副理事長及び監事がこれに当る。
４．問題点が生じた場合は選挙管理委員及び立会人が話合いの上、処理決定をする。

１．と２．についてさらに検討したところ１名以上２０名まで選んで、名前を○で囲む方法のほうが正確かつ選びやすいという事になり最終決定承認された。

大至急、選挙用紙等必要書類を準備し会員に郵送する事になった。

■　会費納入方法について

尾崎財務担当理事より提案されていた、来期よりの会費自動引き落し制度導入に関して全会員に対しアンケート調査をお願いしたところ、３分の２程度の希望があることがわかった。引き落し先の銀行を３行ぐらいに絞る必要があるため、再度会員に対しアンケートを実施することになった。

理事会としては会費納付状況を良くするため、出来るだけこの制度に賛同し協力してもらうよう呼び掛けることに決定。

■　６２年度（社）京都デザイン協会総会日程について

現在のところ**５月３１日（火）**　夕方から開催したい旨が、熊谷理事より報告され、それに沿って準備を開始するよう決定された。

■　第２７回京都デザインコンペについて

久谷理事より２月２６日（金）に開かれた準備委員会の討議内容が報告された。

京都デザインコンペへの応募数が年々減少傾向にあり、多い時は７００人の応募があったが今年は２６０人の応募しかなかった。社会状況の変化、特にデザイン界のジャンルの変化が大きいにもかかわらず対応策を持たないまま継続してきたところに大きな原因がある。日本全国の中でも歴史のあるこの京都デザインコンペを実り多いものにリニューアルするため検討を開始した。

具体案はまず、募集ジャンルの見直しと応募対象開拓のための見直しを実行したい。実質的内容検討のための専門委員会をデザイン系教育に携わっている先生を中心に組織し、４月下旬から５月上旬にかけ検討会を開催したい。

■　その他

１．アミタ株式会社より退会願いが提出されている。
　△残念であるが承認する。
２．京都インテリア産業協会より'88インテリアショーに対する協賛名義使用並びに協賛金（￥20,000）交付願いが提出されている。
　△恒例なので承認する。
３．京都伝統産業青年会より６３年度第１回代表者会議及び懇親会出席のお願いが提出されている。
　△柴田理事長出席。祝電も打つことに決定。
４．社会福祉法人　京都市社会福祉協議会より、６３年１０月２９・３０日に開催される「全国身体障害者スポーツ大会」の一環イベント「愛とふれあいの京都大会」の中の“ふれあい広場”で福祉機器デザイン参加優秀作品の展示を企画しているが、実施に関しての協力を願いたいとの要請があった。
　△４月以降の事業内容なので、新理事会で検討し返答することに決定。

事務局からのお願い

＜既報＞

先日実施されました京都工芸土産品組合とのジョイント展の終了後、扇面を扇仕立に発注された会員の方は、仕立て上がっていますので、至急代金（一本１，０００円）持参の上事務局まで取りにお越し下さい。（田中）

●１９８８．４．３０号　No.０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA-NEWS

ＫＤＡサロン　特番　＜ザ・ウタゲ＞



女性会員活躍のお茶席（左から上田、岡本、松原、若林さん）

去る４月１９日（火）午後５時より、南禅寺『菊水』にて今期最後のＫＤＡサロン特番＜ザ・ウタゲ＞が催された。「ヒューマンネットワークパーティ」のサブタイトルが付けられているだけあり、会員、特別会員、賛助会員、関連団体の方、入会予定の方々、実に５０名近くの多くが参集し、会席料理を賞味しながら京の春の宵を楽しく過ごした。

女性理事総出のお茶の接待に始まった宴は、手入れの行きとどいた庭のしだれ桜の豪華さや、大広間の床の間に掛けられた二連軸の素晴らしさも手伝って豪華でゆったりとした気分に、しばし浮き世を忘れさせるものがあった。

ＫＤＡサロンも会を追うごとに参加者が増え、会員同志、会員とゲストの方々とのコミュニケーションの密度も濃くなり、サロン運営の目的が確実に達成されてきた。これは前線の田積ルーチン事業担当理事、大木ミヤコＫＤＡサロン委員長、伊東吉三会員増強委員長、岡本百合交流ゼミナール委員長（賛助会員の会準備委員会）はじめ委員の方々の努力のたまものであろう。以下は例によってグラフィティーでパーティの様子を御紹介。

'88. 4. 30号 No.02
KDA-NEWS



しだれ桜の下で



田積、菅原、中村氏の謡



橋本氏



黒竹氏の隠し芸



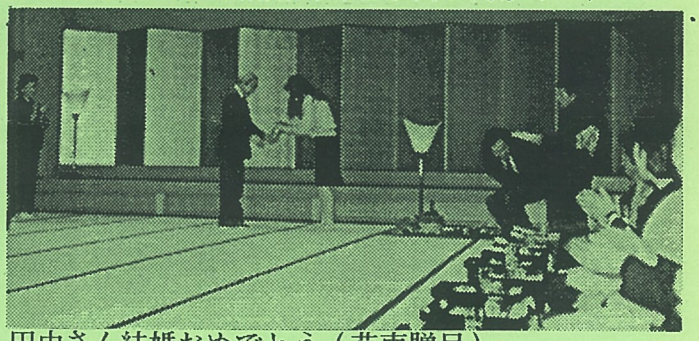


男女会員入り乱れての副笑い風ゲーム（表情が不鮮明ですいません）

'88.4.30号 No.03
KDA-NEWS


グリコのマークの柴田理事長


安田、今井さんの結婚式（理事長が高砂や～）


田中さん結婚おめでとう（花束贈呈）



ＫＤＡ新役員選挙 開票無事終わる

5月31日（火）の総会にて初顔見せ！

先頃行われたＫＤＡ新規役員（理事）選挙の開票が４月２１日（木）３時よりＫＤＡ会議室で、柴田理事長、本郷副理事長、奥田、佐野監事立ち合いのもと、樽家選挙管理委員長、真鍋、鈴鹿、奈良選挙管理委員の手により行われた。

７２名の投票が有り、開票の結果１名無効（１名以上２０名まで選んで○で囲むの規約違反で、20名以上選んであったため）７１名分が有効票であった。得票の多い方から上位２０名を新役員として選出し、結果を当日５時３０分から開かれた理事会に樽家選挙管理委員長が報告、佐野、奥田両監事が間違い無い旨を確認し、承認された。

今後新役員には選挙で選ばれた旨の通知をし、役員を受けるかどうかの確認後、５月31日に開催されるＫＤＡ総会に計られる。（役員の辞退が有った場合は得票数の多かった順に繰上げで確認が取られる）。

今回の選挙を終えて柴田理事長は「今まで以上の投票率があったことは誠に結構なことで、ＫＤＡ会員の意識が高まって来たことの現れでもある。選挙方法の簡便化を計ったことも高い投票率を得るに効を奏した」と感想を述べている。

'88．4．30号 No.04
KDA-NEWS

第１１回理事会より

［開催日時］昭和６３年４月２１日（木）
午後５時３０分～７時
［開催場所］ＫＤＡ・Ｃルーム

柴田献一理事長は「先日催されたＫＤＡサロン　特番　＜ザ・ウタゲ＞　は大盛会で大変良かった。会場も上田理事のお計らいで、南禅寺の“菊水”という一流の場所を設定いただき豪華な雰囲気に浸ることが出来ありがとうございました。今日の理事会は５月の総会を控えてのものです。どうぞよろしく御審議下さい」と挨拶し、理事会に移った。

■　選挙管理委員会の報告

選挙管理委員会（樽家委員長）より、当日３時より開票された結果報告があった。新役員定数２０名を開票の結果選出した。当票数７２票。内有効７１票、無効１票。奥田、佐野両監事の確認により、了承された。

今後当選者には総会までに新役員に選出された旨の連絡をし、受諾するかどうかの確認手続きをする。辞退があった場合は得票数の順に繰上げ当選となり同じ手続きがされる。総会で新役員の発表があり、承認されれば決定となる。

■　昭和６２年度　事業報告

熊谷理事、本郷副理事長より第８回通常総会資料にもとずき昭和６２年度事業報告があった。この年度は、新たな時代に対応できる体力作り、内部の充実を目指して、今までの事業の見直しと事業に携わる会員全員の意識の拡大をはかるべく、新たな委員会制度を導入し実践をはかった。結果は多くの会員の温かい協力を得ることができ、事業の活性化、会員相互の交流が深まった。この事が日常の社会活動の刺激となり、直接、間接に社会に貢献出来たものと信じる。この土台作りを基に、次年度はさらなる飛躍を目指し、会員の全員協力態勢で頑張りたい。

主な事業内容

●第８回京都デザイン会議の共催
●´８７京都デザインコンペの共催
●ＫＤＡ会員展の開催
●受託事業
・京都工芸土産品組合とのジョイント展
・京都ファッション市民大学
・国際歴史都市博、世界歴史都市博に参画
・第４３回国民体育大会準備委員会に参画
●´８７国際テキスタイルデザインフェアに参画
●国際デザインシンポジウム´８７に参加
●デザイナーレ´８７に参加
●関連団体との連帯事業多数に参加
●ＫＤＡサロン５回開催
●ＫＤＡニュース発行（月１回）

■　昭和６２年度　収支決算報告案

尾崎財務担当理事より昭和６２年度収支決算案の報告があった。

収入総額	８，６９４，８８４円
支出総額	８，９９９，６８８円
差し引き	△３０４，８０４円

△印のマイナスは大半が会費等の未収分であり、回収の手続き中。

■　昭和６３年度　事業計画案

熊谷理事、本郷副理事長より昭和６３年度事業計画案骨子の説明があった

今年度は平安建都1200年事業、国体、ＷＦＦの開催協力、来年度の日本デザイン・イヤーへの参画等、活動の輪を広げていきたい。さらには、２１世紀に向けて世界のデザイン

界とネットワークを持てるよう段階的に協会の体力作りを進めていきたい。

主な事業計画

●'８８京都デザインコンペの共催
●デザインに関する調査及び研究
●デザイン行政に対する提言と協力
●デザインに関する会議・講演会・展覧会の開催
●関連団体との連携事業
●デザインに関する教育・啓蒙
●デザインの著作権保護に関する調査・研究
●会員に関する事業
・表彰
・会員カード作成
・ＫＤＡサロンの充実
・賛助会員会結成の推進
●出版事業
・ＫＤＡニュース発行
・２５周年用ＫＤＡのあゆみ（歴史）準備
・京都デザイン史発刊準備調査
●その他の事業

■　昭和６３年度　収支予算案

尾崎財務担当理事より、昭和６３年度収支予算案は昭和６２年度決算案にもとずき作成中であるとの報告があった。

■'８８京都デザインコンペ準備委員会よりの報告

久谷担当理事より準備委員会の進捗状況が報告された。

・会場（日図デザイン博物館）の都合で開催日程が先に決まっている
搬入：９月３０日（金）
審査：10月　１日（土）
設営：10月２２日（土）
展示：10月２３日（日）～２６日（水）
搬出：10月２７日（木）
・準備の日程を逆算すると５月中には詳細を決定し、大学等が夏季休暇にはいる前に募集要項の配布を完了しなければならない。
・要項等内容に関して大幅な変更を計画している。（応募者数の減少に歯止めを掛け、応募者数の大幅増を目指すため）関西のデザイン系教育機関の先生方に呼び掛け「'８８京都デザインコンペの応募規定と内容検討会」を来る４月２７日（水）５時よりＫＤＡ・Ｃルームにて開催する。呼び掛けは京都市、実行委員長柴田献一、審査委員長　西脇友一の連名で行い、とりまとめ実務は久谷理事、アシスタントにＫＤＡニュース委員長奈良を指名。

■　会費納入方法について

尾崎財務担当理事より会費納入方法変更準備の中間報告があった。会費納入に関して会員に利便を計る目的で、会費自動引き落とし制度を６３年度から実施するよう準備をすすめている。会員にその旨のアンケートを取ったところ、引き落とし希望金融機関が多岐に渡っていた。金融機関と相談したところ、少数の場合困難であるとの解答があったため、ＫＤＡとして実現するためには３行ぐらいに絞る必要が生じた。口座が無い会員には新規に口座を設けていただく必要があるが、協力を求めたい。引き落とし金融機関決定までには、もうすこし時間を戴きたい。

■　ＫＤＡサロン　＜ザ・ウタゲ＞　報告

大木ミヤコＫＤＡサロン委員長より４月19日（火）に開催された特番＜ザ・ウタゲ＞の報告があった。会員、ゲスト合わせて５０名近くの参加があり大成功。今回は特に女性理事の協力のもと、お茶席をしつらえるなど趣向を凝らし、皆さんに喜んで戴けるサロンに

88．4．30号 No.06
KDA-NEWS

なり大変やりがいがあった。今後へのお願いですが、出席の返事を出されたにも拘らず、当日連絡なしに欠席されることの無いように。

■ 一般報告

デザイン関連団体より多くの情報が寄せられている。

■ その他

・正会員　桝仲進氏より健康上の理由で退会願いが提出された。了承すると共に、氏の健康をお祈りします。

・（財）国際デザイン交流協会より本郷副理事長に国際デザインコンペ実行委員になっていただきたい旨の委嘱状が届いた。受託することに決定。

・（財）平安建都1200年協会より第４回企画委員会への参加要請があった。今西副理事長にお願いすることに決定。（氏の都合が悪い場合は氏より他の常務理事を指名）

・（財）日本産業デザイン振興会より、デザインイヤー協力団体になって欲しい旨の要請があった。協力する事に決定。

事務局からのお知せ

★事務局員の田中道子さんが結婚されました。新婚旅行のため５月１３日までお休みされます。祝福してあげて下さい。

★諸江茂登子（もろえもとこ）さんが新たにに事務局入りしてくれました。田中さんがお休み中はもちろんのこと、田中さんが旅行から帰ってきたら一緒に事務局を支えてくれます。会員の皆さん、なれない諸江さんを励ましに事務局を訪ねて下さい。（ケーキなどをおみやげに）

ＫＤＡ総会
5月31日（火）開催決定

＜ザ・ウタゲ＞　こぼれ話し

☆御案内のリーフレットに『お一人百枚程度の名刺持参でおこしください』と書いてあったのは、皆さん御存じですね。パーティもたけなわになり、そろそろ名刺交換会が始まる少し前に、「しまった、名刺忘れた、取りに帰ってくるわ」と言い残し、大急ぎで会場を出ていく会員が一名おられました。今西副理事長の音頭で３分間の名刺交換タイムがあり、その後、本郷、今西副理事長の掛け合いによるお開きの挨拶がありお開きになってしまった後、名刺を取りに行かれた会員の姿を再びみかけたのは会場を出た南禅寺の路上でした。その会員は鯛天成雄氏で、手にはしっかりとケースに入った百枚の名刺を握っておられました。間に合わなかったのは本当に残念で、知り合いの会員が敬意を表して、貴重な名刺を受け取っているシーンが印象的でした。

●１９８８年６月１５日号　No.０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA·NEWS

第8回 通常総会報告



新役員決定

理事長に柴田氏　副理事長に今西氏　本郷氏　再選

第８回　通常総会が、去る６月１日（水）午後５時よりＡＢＬホールにて多くの来賓や過半数以上の会員の出席を得て開かれ、総会議案全てが承認され無事終了した。

熊谷常務理事の司会で、まず今西副理事長が開会宣言、柴田理事長の挨拶でスタートした。挨拶の中で理事長は「昨年度は新たな時代に対応できる体力づくり、内部の充実に主眼を置き、委員会制度の導入により、常務理事を中心にして会員の皆が何等かの役割を持ち、会を盛り立てる土壌が出来た。また、関連団体との交流も広く深く強くなった事など、満足のいく１年でした。来年度はデザインイヤーでもあり、さらなる飛躍を目指して全員協力態勢で頑張っていきたい」と述べた。

続いて議長選出及び、議事録署名人指名があり、柴田理事長が議長に選ばれ、寒河江義弘、山本唯与志氏が指名され議事に入った。（議事内容は既に御手許に郵送されている第８回通常総会資料の内容に即している）

88．6．15号 No.02
KDA-NEWS

最初は本郷副理事長より、昭和６２年度事業報告が有り、委員会報告では、［ＫＤＡ都市美観研究会］恩地委員長より、キチンと製本された６２年度報告書にそって簡単な解説報告（御手許に無い方は事務局に有りますので是非目を通して戴きたい）。［ＫＤＡサロン委員会］大木委員長、［ＫＤＡニュース委員会］奈良委員長より簡単な補足報告があった。

続いて尾崎財務理事より、昭和６２年度収支決算報告があり、奥田監事より会計監査報告として間違いが無かった旨の報告があった。

続いて松原理事より会員移動状況報告として、特別会員９名、学術会員３名、会友２名、特別賛助会員９社、賛助会員４０社、正会員８０名（新入会員含む）、準会員３名との報告があった。

続いて樽家選挙管理委員長より４月２１日に開票された新役員選挙の開票結果が報告された。今西慧、柴田献一、本郷大田子、恩地惇、熊谷實、田積司朗、嶋高宏、黒竹節人、藤田頼伯、大木ミヤ子、久谷政樹、尾崎要、宮川万樹夫、若林温子、南澤弘、奈良磐雄、中村隆一、山本竜一、鈴鹿芳康、阿部コウイチの２０氏が発表され、出席者の全員一致で承認された。

新役員が決定したところで、新役員による理事長、副理事長選挙のため総会は一時休会にはいった。

別室で奥田、佐野監事立ち会いのもとに選挙がおこなわれ、結果が出たので総会を再開し、新理事長に柴田献一氏、副理事長に今西慧氏、本郷大田子氏が選ばれた旨を佐野監事が報告した。さらに、監事の任期も満了したので、定款に従い次期監事として富家宏泰氏、藤川延子氏を特別会員の中から選任した旨の報告があった。

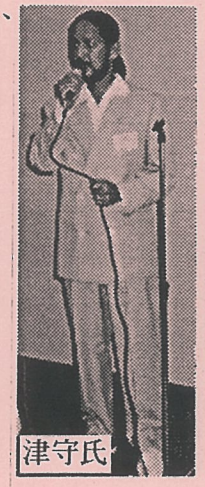
早速、２期連続理事長に選ばれた柴田氏は


南恵美子氏


西口光博氏


桧山弘氏


長戸幸雄氏

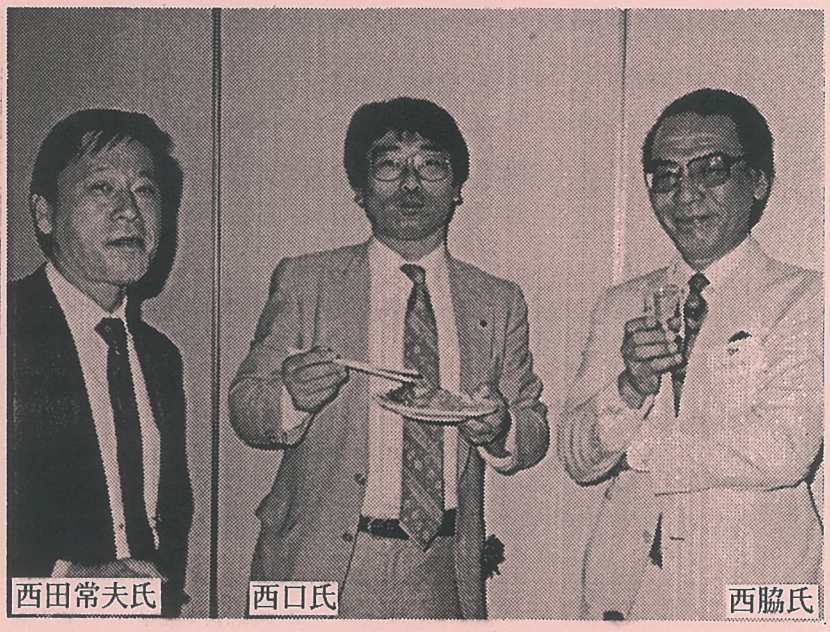

津守氏


佐々木氏


堀木氏


茨木氏

？▼ 美しい新人会員たち ▲！


西田常夫氏

西口氏

西脇氏

88．6．15号 No.03
KDA-NEWS

「選んで頂きありがとうございます。６３年度に引き続きやらねばならない事業を皆さんの協力のもとに頑張ってやり遂げたい」と挨拶した。

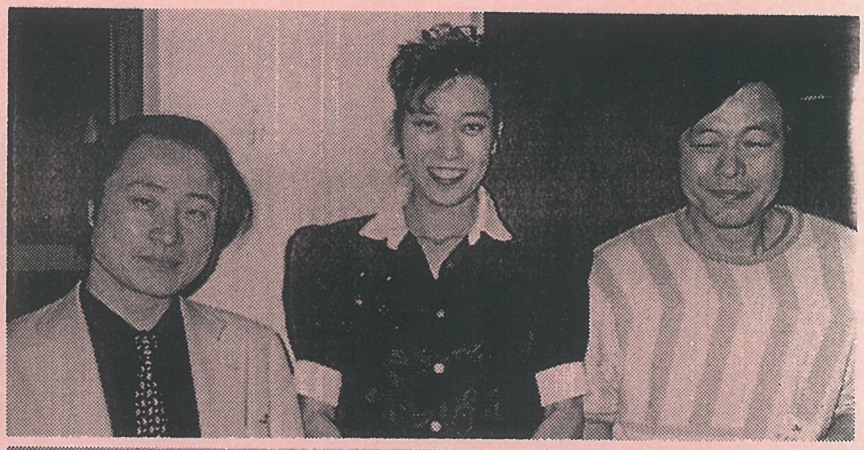
再び柴田理事長を総会議長に選任し、再選された本郷副理事長が６３年度の事業計画案を、尾崎財務理事が６３年度収支予算案を説明し全員一致で承認された。

ここで総会に於ける議事は全て終了し、続いて新入会員（堀木エリ子、津守順、茨木善弘、佐々木佳子の４氏）、準会員より正会員になった寺谷玲氏の紹介があり、全員の温かい拍手で迎えられた。

その後、多くの来賓の中から京都府商工部染織工芸課　理事　南恵美子氏、京都市経済局商工部伝統産業課　課長　西口光博氏、京都商工会議所商工新興部　副部長　西田常夫氏よりそれぞれご祝辞をいただいき、京都銀行、京都信用金庫からいただいた祝電の披露があった。

本郷副理事長の閉会の挨拶の後、引き続き隣接して設けられたパーティー会場での懇親会に移った。

懇親会では、特別賛助会員を代表して京都銀行の営業開発部　室長　桧山弘氏よりご挨拶をいただき、関連団体を代表して京都建築設計管理協会　会長　長戸幸雄氏のご発声で乾杯をした。和やかな歓談の中、新理事による一言ずつの挨拶や、新入会員の自己紹介があり、最後は、特別会員　西脇友一氏のご挨拶をいただき中締めとなった。











88．6．15号 No.04
KDA-NEWS

第２回理事会より

［開催日時］昭和６３年６月１日（木）
午後４時～５時
［開催場所］ＫＤＡ・Ｃルーム

●ＫＤＡニュース　４．３０号に掲載しました第１１回理事会報告は、６３年度第１回理事会報告の誤りです。お詫びして訂正致します。（奈良）

６３年度第２回理事会が６２年度理事の最後の仕事として第８回通常総会に先駆けて開催された。

柴田献一理事長は「今日はこの後、第８回通常総会が控えており、現理事体制最後の理事会となります。本当にご苦労様でした。本日の議題をどうぞよろしく御審議下さい」と挨拶し、理事会に移った。

■　第８回通常総会について

熊谷理事より総会の進行方法の説明、役割分担の説明があり承認された。

■　新入会員について

堀木エリ子、津守順、茨木善弘、佐々木佳子　以上４氏の入会申込みカードが回覧され、全員一致で承認された。

■　一般報告

関連団体、その他より、多くの情報が寄せられている。

■　京都デザインコンペ'８８

開催準備状況報告

久谷担当理事より準備委員会の進捗状況が報告された。

・前回の理事会でも報告した通り、何回かの会議を重ねて、応募要項等内容に関して大幅な変更をしました。（応募者数の減少に歯止めを掛け、応募者数の大幅増を目指すため）

＜主な変更点＞

●募集作品のジャンルを、より広い視点からとらえられるように拡大し、現代の生活に密着した判りやすい表現にした。

●作品審査の方法、ジャンル別から総合審査に変更。

●審査員を大幅変更（今まで審査に当たっていただいた方には心より感謝しなければいけない）

●作品規定を、コンペのためにわざわざ制作し出品される作品だけに限らず、日頃の自由な制作活動により生み出された作品をも出品しやすいように、テーマを無くし、可能なかぎり簡略化した。

応募要項の発送は、従前よりきめ細かく行う。中部地区以西のデザイン、美術系教育機関の担当教員名まで調べ、名指しで応募促進を依頼する。（７５校　119 個口3,745 枚）その他のデザイン、美術系教育機関（４０校 40個口　200 枚）関連団体、出版社（７０社 70個口）

夏休みに入る前と、夏休み明けに担当者に対し、電話でプッシュする。

●6月11日　京都新聞〈朝刊〉掲載

自由な発想募る

京都デザインコンペ'88

※※※※※※

新人デザイナーの登竜門、第二十七回「京都デザインコンペ'88」（京都市、京都デザイン協会、平安建都一二〇〇年記念協会主催）の作品募集要項が十日発表された。今回は、テーマ設定や部門別審査を廃止して、幅広い分野からの、自由な発想の作品応募を期待している。

募集するのは、グラフィックから、産業デザイン、テキスタイル、建築、都市までと広範囲で、さらに今回からデザインコンセプトやサーベイ、研究といった調査・提案作品の受け付け、搬入は九月三十日に、また公募展は十月二十三日から四日間、いずれも京都市左京区岡崎の市伝統産業会館内の日図デザイン博物館で行う。出品手数料は一点二千円。詳しくは、ツクデザイナーの西脇友一氏を審査員長に、第一線で活躍する若手デザイナー七人が審査。グランプリ一点（副賞銀、銅の各賞（同二十一万円）計十九点を選ぶ。

市伝統産業課☎075（222）3338、京都デザイン協会☎075（541）0239まで。

●１９８８年９月１５日号　No.０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA-NEWS

★'88年度 ＫＤＡ新委員会 やや遅れてスタート★

●本年度の委員会組織は、昨年度委員会組織を一部手直しし、基本的には全員参加の理念で運営していく。

●組織機構および委員会の各委員長、副委員長は理事会で決定し、委員には会員の立候補によりなっていただく方式に決定。

●委員は重複してもよく、委員の一部はすでに委員長の要請で内定。

●新入会員の所属は理事会で内定。

●事業部単位のブロック会議を担当常務理事を中心に早急に招集開催し、各種委員会の具体的事業内容を詰めていく。

各種委員会委員への立候補届けは事務局までお早めに電話で御一報下さい。

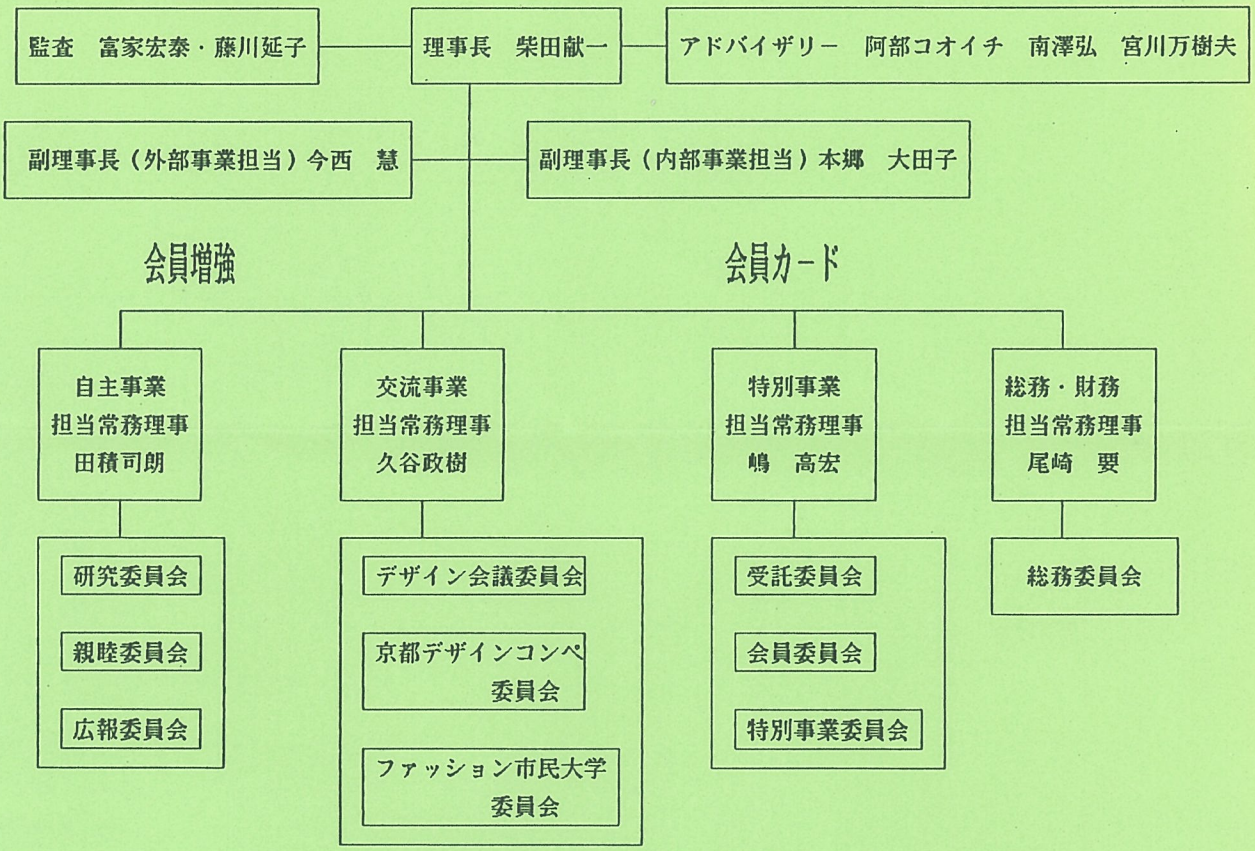
●第27回 京都デザインコンペ'88 の作品搬入9月30日(金)に迫る。

クチコミもフル活用で応募作品点数増加のための運動強化月間に指定。

'88．9．15号 No.02
KDA-NEWS

ＫＤＡ新委員会構成

（'88．9．6　理事会決定）



自主事業

担当常務理事　田積司朗

研究委員会 都市美観 広告美観	担当理事　恩地　惇 （委員長）真鍋宗平（副委員長）岡　順一 （委　員）志摩村ひろみ （委員長）奈良磐雄（副委員長）岡村貞雄 （委　員）若林義明
親睦委員会 サロン	担当理事　大木ミヤ子 （委員長）樽家紀治（副委員長）山本唯与志 （委　員）園部正晴　小川富誉　堺　映祥
広報委員会 ニュース	担当理事　奈良磐雄 （委員長）奥村厚人（副委員長）平松堅二 （委　員）平松堅二　森野純亘

交流事業

担当常務理事　久谷政樹

デザイン会議 委員会	担当理事　山本竜一 （委員長）みねゆうこ（副委員長）今川慶子 （委　員）寺谷　玲　堀木エリ子
京都デザイン コンペ委員会	担当理事　中村隆一 （委員長）綯天成雄（副委員長）沢井敬子 （委　員）谷口啓史　小椋輝勝　井上捷之
ファッション市民 大学　委員会	担当理事　鈴鹿芳康 （委員長）寺谷　玲（副委員長）津守　順 （委　員）六渡　満

★ＫＤＡ　ＮＥＷＳに内外情報を★

88．9．15号 No.03
KDA-NEWS

特別事業

担当常務理事　嶋　高宏

受託委員会 受託	担当理事　黒竹節人 （委員長）　未定　（副委員長）松原醇子 （委　員）東郷　健　小林郁央
会員委員会 会員展	担当理事　若林温子 （委員長）菅原良介（副委員長）佐々木桂子 （委　員）園部正晴　茨木善弘
特別事業委員会 [illegible]会誌	担当理事　藤田頼伯 （委員長）中川栄一（副委員長）安田英夫 （委　員）東谷武史

総務

担当常務理事　尾崎　要

総務委員会 庶務 会計	担当理事　熊谷　實
事務局	萩原道子（旧姓　田中）　諸江茂登子

第３回理事会より

［開催日時］昭和６３年９月６日（火）
午後５時30～８時
［開催場所］ＫＤＡ・Ｃルーム

＜出席理事＞柴田献一　本郷大田子　嶋高宏
久谷政樹　藤田頼伯　鈴鹿芳康　若林温子
奈良磐雄　山本竜一　恩地惇
＜委任理事＞今西慧　田積司朗　南澤弘
阿部コウイチ　宮川万樹夫　黒竹節人
尾崎要　熊谷實　中村隆一　大木ミヤ子
＜欠席監事＞藤川延子　富家宏泰

柴田理事長は「６３年度新委員会制度を１日も早くスタートさせるようどうぞよろしく御審議下さい」と挨拶し、理事会に移った。

■６３年度新委員会制度について

本郷副理事長より新委員会制度案（別表）についての説明があった。事業運営監査をアドバイザリーとし、実務面に関してもアドバイスをいただくセクションとする。会員増強委員会を拡大解消しＫＤＡ会員全員がこれに当ることにする。会員カードはＫＤＡ運営上必要不可欠なので、内部事業担当理事（本郷）直轄とし、すでに事務局に整理充実を指示した。事業部門も事業内容に即した形に整理し、シンプル化を計った。各委員会の担当理事が決定した段階で、委員長、委員を組織していく。本年度の委員は会員からの立候補制とし積極的な関わりを期待する。新入会員については事情がわからないので、理事会によりふりわけさせていただく。事業担当常務理事の招集で早急にブロック会議を開催し、年度計画に即した具体的事業計画を作成する。

特別事業の特別事業委員会はＫＤＡの事業活動、人事の変遷をさかのぼり調査し、正確に記録保存していくものとする。

以上の新制度案について全員一致で承認した。

■　一般報告

本郷副理事長より、送付物の案内があった。会員の皆さんに見ていただく方法は無いものか、との意見もあったが、当面はＫＤＡ事務

所で閲覧していただくしかない。

＜送付物＞

・西陣グラフ８・西陣織だより436 号・流行色8,9 ・Design Age 108・日本店装新聞1150 1151・デザインライフ 176号・伝統65（伝青）・デザインプラザVOL.54・同趣苑 31号32号・工芸学会通信No.75 76 ・技術情報No.152 ・京都府駐在員便り 第21号・京都市伝統産業会館あゆみ 第14号・ＩＣＣニュース32・北海道デザイン協議会15・京都府商工だよりNo.327 ・ＤＥＳＩＧＮ福山25,26-1988・ＮＥＷＳ ＆ ＲＥＰＯＲＴ ２・コンペ&コンテストNo.6 ・世界デザイン博覧会計画について・月刊公募ガイド９月号

■ 受託事業について

本郷副理事長よりの報告と提案。８月２日長浜の浜ちりめん工業協同組合の有志でつくる“あかつき会”の高山、石井、中川氏がＫＤＡ事務局を訪問、浜ちりめんを使った洋服をデザインしたので批評していただけないかと申し出でられた。色々お話しを伺って、今後ＫＤＡの受託事業に発展する可能性があるので受託事業委員会のメンバーを加えて進めて行きたい。理事会として承認した。

■ 京都中央信用金庫特別賛助会員入会について

西村清次理事長名で入会申し込みを戴いた。ＫＤＡとしてはお願いしていたので全員一致で承認した。

■ その他

・昭和63年９月９日（金）1:30～4:30 京都商工会議所で開催される ＮＤＫ第30回トータルモードショウ・第１回ファッションクラフト展への後援名義使用及び協賛金２万円のお願いがあった。慣例に従い了承。あわせて審査員のお願いについては外部事業担当今西副理事長の都合により担当者を決定。

・昭和63年10月９日（日）1:15～ 国立京都国際会館で開催される 京都伝統産業青年会創立20周年記念式典への招待があった。今西副理事長の都合が悪いので交流事業担当久谷常務理事が出席することになった。

・昭和63年９月22日（木）1:00～2:00 大阪商工会議所４Ｆで開催される '88 京阪神ファッションマンス・第３回実行委員会への出席要請があった。今西副理事長が出席することになった。

・（社）京都デザイン協会 細則について柴田理事長より発言があった。細則第８条に『会友－会員の中から理事会の推挙により会友とすることが出来る。』とあるが、何を根拠に推挙出来るのかの概念規定があいまいなので判り易くしたい。他の細則もこの際見直しを計るため“細則研究委員会”を発足させ、年度内に検討し総会に計ってもらいたい。委員会にはいきさつを御存じの古参の会員にも是非加わって戴きたい。

検討委員会設置の方向で理事会は了承した。

■ 京都デザインコンペ'８８ 開催準備状況報告

久谷担当理事より準備委員会の進捗状況が報告された。

応募要項の発送は、従前よりきめ細かく行い、北は北海道からも事務局へ問い合わせがあったほど今回のコンペへの関心の度合いは高いようである。９月30日の応募作品搬入日まであと２４日を残すばかりとなった今、ＫＤＡ全力を挙げて応募点数増加の呼び掛けに協力願いたい。明日９月７日には京都市と審査等について具体的な打ち合わせをすることになっている。１次審査に関しては、ＫＤＡ理事全員にお願いしたい。

ＫＤＡとしては最大のイベントであり、是

'88．9．15号 No.05
KDA-NEWS

が非でも成功させる必要があり、あらゆる面での協力体制を取ることで理事会は了承した。

デザインコンペ'88 の打ち合わせ

＜京都市＞西口伝産課長　佐貫　宮川
＜ＫＤＡ＞久谷　中村　奈良
＜日時＞　63年９月７日　3:00～4:30
＜場所＞　京都ホテルロビー６

１．募集作品の受付け　９月30日9:30～4:00
①受付は便宜上Ａ～Ｅ部門別。審査は総合審査。
②Ａ．Ｃ．Ｂ．Ｄ．Ｅ．の順に応募点数が多いであろうから受付の人員配置を調整する。アルバイトは市で確保。
③総合受付（出品料の徴収、ジャンルの指示）はＫＤＡの事務職員及び担当委員が受持つ。
④作品の保管は京都市が中心に、ＫＤＡが協力して行う。

２．審査（10月１日）
①一次審査はＫＤＡ理事全員（20名）により９時から12時の間で行う。
②二次審査は西脇審査委員長、黒川、近藤、長友、森口、若林、柴田審査員により１時30分から４時までの間で行う。

３．広報発表は審査後速やかに行う。優秀作品の写真、審査員のコメントをつけ京都市は京都商工会議所記者クラブで、ＫＤＡは中村担当理事が新聞社文化部、デザイン専門誌宛てに積極的に行う。

４．会場設営（10月22日）
①見付け等のデザインはＫＤＡ真鍋氏が行い仕様書を９月28日までに市へ提出し、市にて業者を入札契約。
②作品展示のレイアウト、展示の指示はＫＤＡ中村担当理事、真鍋氏及び委員が行う。

５．表彰式（10月23日）は柴田理事長、建都1200年協会の出席のもと、伝統産業会館にて行う。盾、表彰状の制作は昨年の分担と同じで行う。パンフレット（入賞目録）の作成も昨年同様の分担で行う。巻頭言は西脇審査委員長に10月６日までに書いていただく。納品は10月21日。

６．展示期間中（10月23日～26日）はＫＤＡ事務職員、担当会員、京都市が協力して会場に詰める。

７．作品の返却（10月27日）はＫＤＡ担当委員、事務職員、京都市が協力して行う。取りに来ない作品に関しては一定期間保管後廃棄処分する。

第3回 KDA GOLF コンペ

第３回ＫＤＡゴルフコンペ及びオール関西デザイナーズコンペ、ＫＤＡ代表予選会が９月６日、雨の降る中、京都ゴルフ東コースで開催されました。成績は下記の通りでした。

［優勝］松山季高（日図）GROSS 91 HC22
［準優勝］尾崎要GROSS 95 HC 24.4［３位］山仲武士（奈良デ協）［４位］藤田頼伯［５位］田積司郎［６位］園部正晴［７位］日比昭彦［８位］木村紀久雄［９位］本郷大田子［10位］丸尾由紀子［BB賞］大木ミヤ子［12位］鯛天成雄GROSS 131 HC36
［ベストグロス］松山［ドラコン］松山
山仲［ニヤピン］田積　本郷［大波賞］本郷

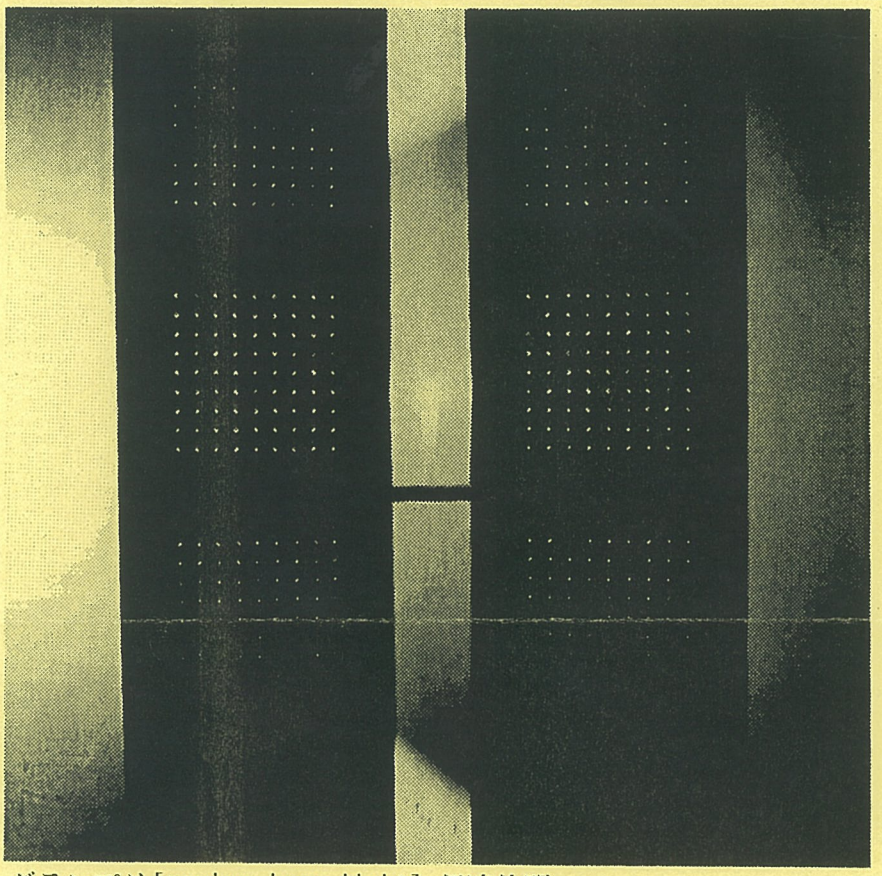
次回からはこのコンペを参考にＫＤＡHCを決めたいと思います。

次回予告　１２月に忘年コンペ行います。ゴルフ大好き人間で未登録の方は事務局までお申込み下さい。（オフィシャルのある方はそのむねもお知らせ下さい）　世話人　尾崎

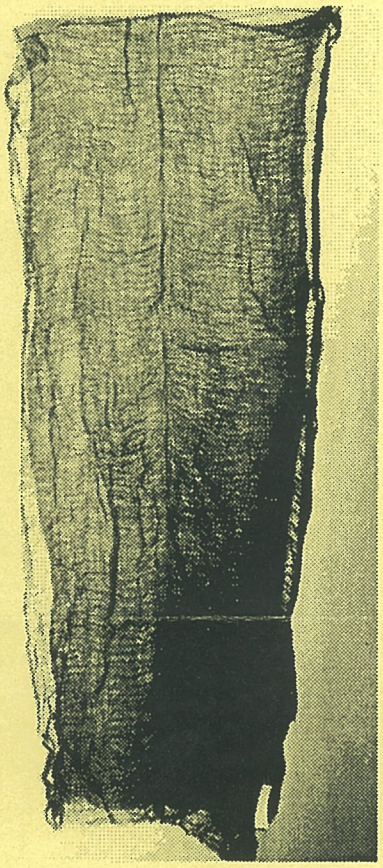
ＫＤＡニュースは２か月のお休みを頂き御迷惑をおかけしました。今後共よろしく。

●１９８８年１０月２５日号　№０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA-NEWS



グランプリ[moving lamp light] 伊達伸明



特別賞［TEXTILE]菊池　学

第27回　京都デザインコンペ'88　322点の応募作品

京都市・（社）京都デザイン協会・平安建都1200年記念協会が共催で、第27回京都デザインコンペ '88の作品を公募した。今回の公募は応募点数を大幅に増やしたいという大きな目標があり、デザインコンペ委員会を中心に早い時期から何度も会議を開き、社会状況の変化に対応してデザインとしての条件やカテゴリーに巾を持たせると同時に、審査の方法や構成も改め、年ごとに設定されてきた統一テーマも廃止したかたちで公募をスタートした。

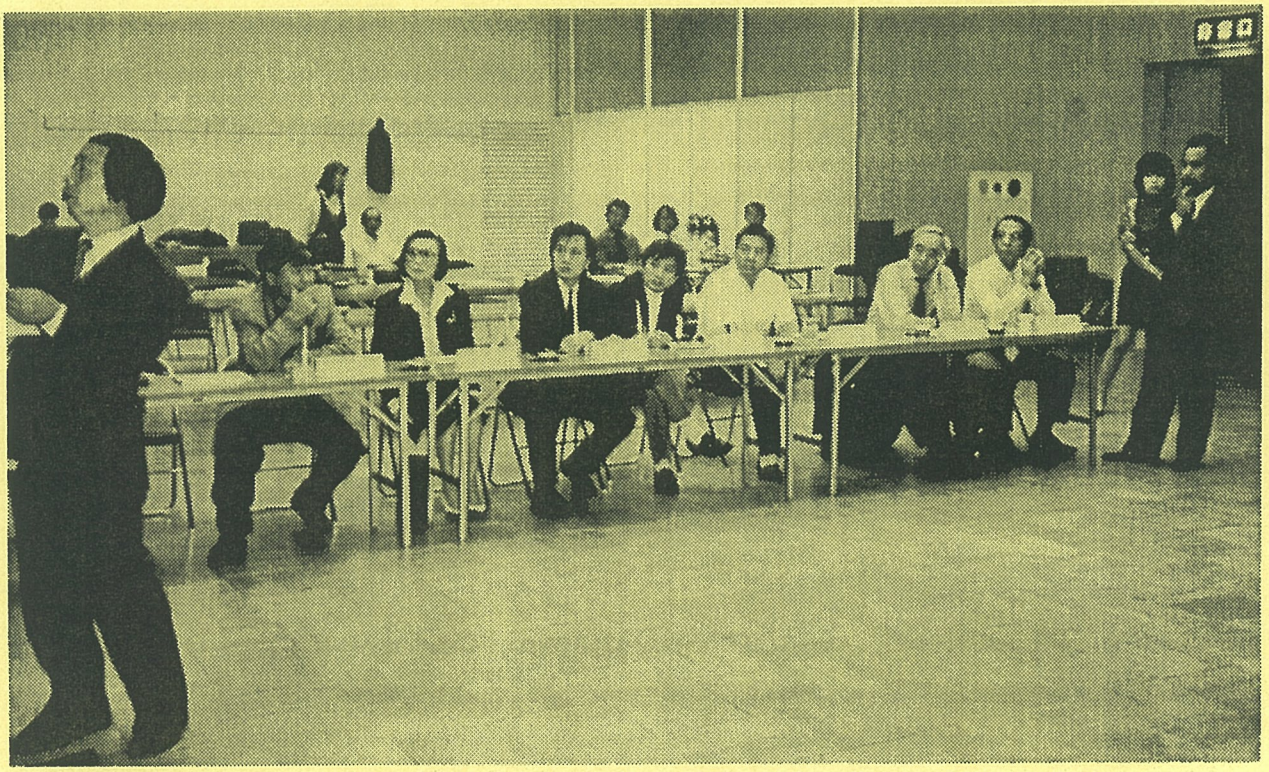
３２２点（昨年は２６０点）の応募があり、10月１日午前９時よりＫＤＡ理事20名による一次審査の後、西脇友一（総合審査委員長：ＫＤＡ特別会員）黒川雅之（ＩＤデザイナー）近藤年子（ファッションデザイナー）長友啓典（アートディレクター）森口邦彦（染色作家）若林広幸（建築家）柴田献一（ＫＤＡ理事長）の７氏による総合審査が行なわれ、入賞２１点と入選１１３点が選ばれた。展覧会は日図デザイン博物館で10月23日（日）から26日（水）の４日間開催され、多くの入場者

があった。

23日午前９時30分よりオープンに先駆け、会場横の会議室において入賞者の表彰を行なった。京都市伝統産業課の西口課長が開会を宣言、主催者を代表し京都市経済局の空谷局長が挨拶。表彰に移り、賞状、盾、賞金が入賞者一人一人に手渡された。団武夫（社団法人日本図案家協会会長）谷口主嘉（京都伝統産業青年会会長）鈴木省五（京都商工会議所振興部部長）西村正治（ＫＢＳ京都事業局長）池原正紀（日本工業新聞社京都支局長）上田年子（京都服飾デザイナー協会理事長）奥田広幸（日本グラフィックデザイナー協会）ら来賓各位を代表し、（財）平安建都1200年記念協会事務局長の黒川敏氏に祝辞をいただいた。西脇友一総合審査委員長の審査総評後、柴田理事長が挨拶し閉会。続いて会場に移り、主催団体の代表によるテープカットで展覧会はスタートした。

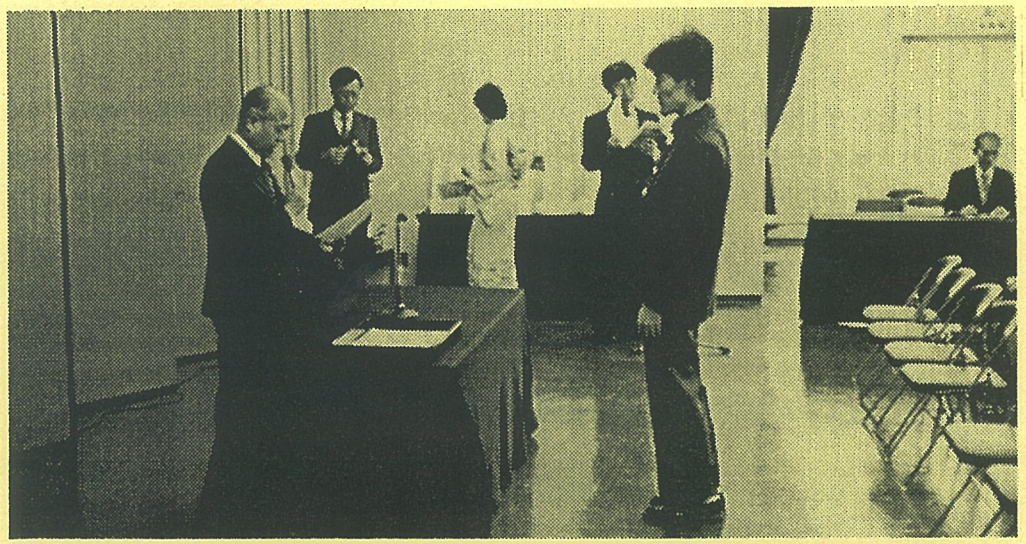


金賞［Tenper1.2.3］杉本美和



総合審査風景（左から　中村　黒川　近藤　若林　森口　長友　柴田　西脇　久谷氏）

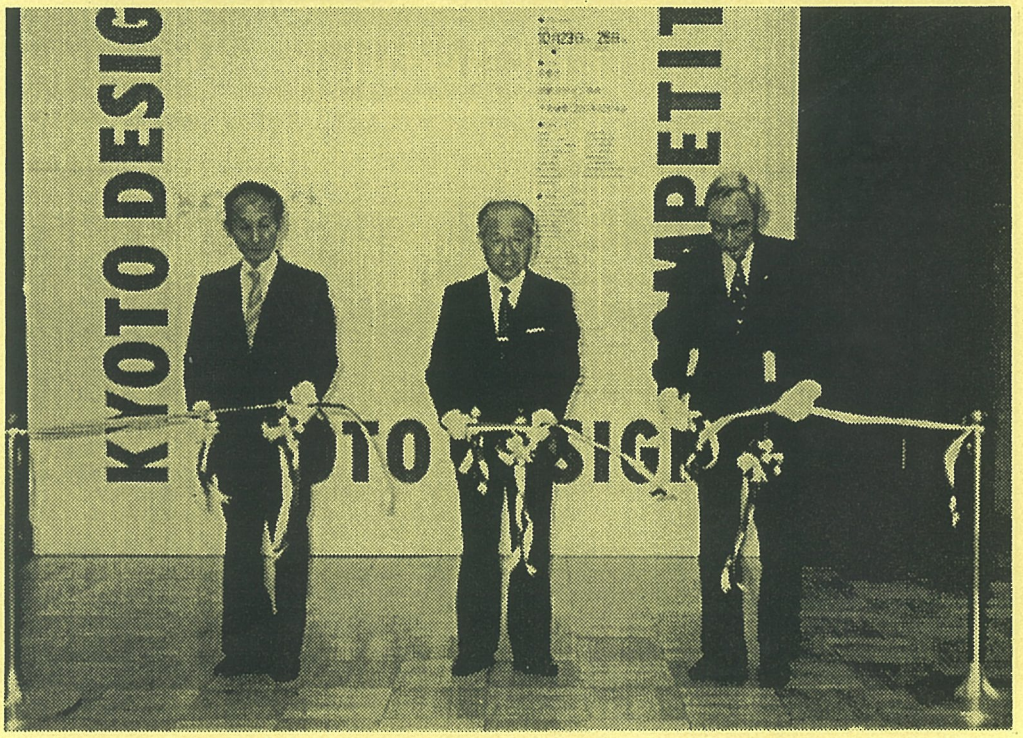
'88. 10. 25号 No.03
KDA-NEWS



グランプリ表彰
空谷経済局長より
伊達氏へ



西脇総合審査委員
長の総評



オープニングテー
プカット（左から
黒川　空谷　柴田
各主催団体長）

KDA·NEWS
'88. 10. 25号 No.04

●受賞者は朝日、毎日、京都新聞に掲載

グランプリに伊達さん

京都デザインコンペ88

京都市が主催するデザイン作品の公募展「第二十七回京都デザインコンペ88」の入賞、入選作品が五日、発表された。全国の京都市立美大四回生伊達伸明さんのインテリア作品「moving lamp light」が決まった。入選は百十三点。

イラストレーション、賞状などを含む三百二十二点の応募があり、入賞はグランプリに選ばれたのをはじめ、特別賞、金賞各二点、銀賞五点、銅賞十二点。

二十三日に京都市伝統産業会館で表彰式。四日から二十六日まで、同市左京区岡崎公園内の日図デザイン博物館に入賞、入選作品が展示される。特別賞以下の入賞者は次のみなさん。

【特別賞】菊池学(京都八王子市)【金賞】杉本英和(京都市左京区)【銀賞】田中竜二(枚方市)▽竹田みち子(堺市)▽水元奈緒美(京都市左京区)▽竹中直美(同市下京区)▽和山薫(東京都新宿区)【銅賞】柳沢麻由美(京都市左京区)▽石破里子(同)▽中村麻衣香(同)▽森本朱美(同)▽羽田恵二(大阪市)▽大西文恵(京都市西京区)▽高橋純子(長岡京市)▽山田由美子(同)▽細井真史(西宮市)▽森川千賀子(京都市左京区)▽谷口真喜子(京都市中京区)

▲朝日新聞　63年10月6日<朝刊>

大賞に伊達さん

京都デザインコンペ88

入賞作品決まる

「第二十七回京都デザインコンペ88」(京都市、京都デザイン協会など主催、京都新聞社など後援)の入賞作品などが、五日決まった。グランプリには、大阪府豊中市の伊達伸明さん(二四)=学生=の作品「moving lamp light」が選ばれた。

同コンペは、新人デザイナーの登竜門で、全国各地から三百二十二点の作品が応募された。審査の結果、グランプリ一点、特別賞一点、金賞二点、銀賞五点、銅賞十二点が決まった。グランプリに選ばれた作品は、ロウソクの明かりと光ファイバーの明かりをモチーフにしたインテリアで、新旧のコントラストをうまく取り入れたさん新なアイデアが高く評価された。

表彰式は二十三日午前九時半から京都市左京区の市伝統産業会館で行われる。入場無料。

その他の入賞作品は次の通り。(敬称略)

【特別賞】菊池学(二七)=東京都八王子市、会社員=、TEXTILE

【金賞】杉本英和(二九)=京都市左京区、学生=、Triangle Part-1、Triangle Part-2、Triangle Part-3

【銀賞】田中竜二(二四)=大阪府枚方市、デザイナー=、席はらの中で あれこれ、草はらの中で もそもそ▽竹田みち子(二八)=大阪府堺市、無職=、床の間の四季▽水元奈緒美(二〇)=京都市左京区、学生=、彼が教えてくれた▽竹中直美(二〇)=京都市下京区、学生=、PREVIEW▽浦山薫(二一)=東京都新宿区、デザイナー=、でこぼこのある○△□の花器

【銅賞】柳沢麻由美(二〇)=京都市左京区、学生=▽石破里希子(二九)=京都市左京区、学生=▽中村麻衣香(二九)=京都市左京区、学生=▽森本朱美(二九)=京都市左京区、学生=▽羽田恵二(二九)=大阪市西成区、デザイナー=▽大西文恵(二九)=京都市西京区、学生=▽高橋純子(二九)=長岡京市、学生=▽山田由美子(二〇)=長岡京市、学生=▽細井真史(二九)=西宮市、学生=▽堀正秀(二九)=京都市左京区、学生=▽森川千賀子(二九)=豊中市、無職=▽谷口真喜子(二七)=京都市中京区、学生=

▲京都新聞　63年10月6日<朝刊>

——金賞に杉本さん 京都デザインコンペ



金賞を受賞した杉本さんの作品

新人デザイナーの発掘と市民のデザイン意識の高揚を目指して、京都市や京都デザイン協会などが主催する「第二十七回京都デザインコンペ88」の審査結果が五日、発表された。入賞は三百二十二点の応募作品中、二十三日午前九時から京都市伝統産業会館(左京区岡崎)で表彰式が行われる。

また、二十三日―二十六日の間、同会館三階の「日図デザイン博物館」で展示会が開かれる。主な入賞者は、次の皆さん。

【グランプリ(市長賞)】賞金五十万円=大阪府豊中市上野西四、京都市立芸大四回生、伊達伸明(二四)=インテリア「moving lamp light」

【特別賞(平安建都一二〇〇年紀念協会賞)】同=東京八王子市北野町、会社員、菊池学(二七)=テキスタイル「TEXTILE」

【金賞(KDA賞)】同=左京区北白川西山、京都芸短ビジュアルデザイン研究室、同大二回生、杉本英和(二九)=イラストレーション「Temperi-3」

【銀賞(経済局長賞)】同=五万円=大阪府枚方市西禁野一、デザイナー、田中竜二(三四)▽同府堺市出島海岸通、無職、竹田みち子(二八)▽左京区北白川西山、京都芸短ビジュアルデザイン研究室、水元奈緒美(二〇)▽下京区河原町通五条下ル、レイアウト研究所、竹中直美(二〇)▽東京新宿区北新宿三、デザイナー、浦山薫(二一)。

▲毎日新聞　63年10月6日<朝刊>

88. 10. 25号 No.05
KDA-NEWS

第４回理事会より

［開催日時］昭和６３年10月７日（金）
午後５時～７時
［開催場所］ＫＤＡ・Ｃルーム

＜出席理事＞柴田献一　本郷大田子　嶋高宏
久谷政樹　藤田頼伯　鈴鹿芳康　若林温子
奈良磐雄　山本竜一　熊谷寛　黒竹節人
大木ミヤ子　中村隆一　南澤弘
＜委任理事＞今西慧　田積司朗　宮川万樹夫
阿部コウイチ　尾崎要　恩地惇
＜欠席監事＞藤川延子　富家宏泰

第４回理事会報告は既に会員各位に送付済みですが、議題の一部についてもう少し詳しくお知らせします。

■第27回京都デザインコンペについて

柴田理事長より「今回のコンペの大きな目標であった『応募点数増』は、委員会の皆さんはじめ関係各位の努力により一応達成することが出来、有難い。これを足掛かりに今後のデザインコンペのありかた等について意見交換を進めていただきたい」と述べた。

＜感想・意見＞

○マスコミへのＰＲを積極的に行なったので多くが取り上げてくれ、出品作品増につながった。来年度に向けて、入賞作品の写真をデザイン専門誌に送付し掲載してもらうよう働き掛ける。
○イラストレーションの作品が増えた。デザインソースであり、デザイン作品ではないが若い人には手掛けやすいジャンルである。
○応募者の大半が学生であるが、もっと若手のプロが応募してくるものにしたい。
○今回、主催側として募集要項の発表を夏休み前に早めたが、学校側の対応の遅れで学生に伝わるのが遅く、結局９月に入ってから伝わったケースが多いのでは。その辺のＰＲを徹底すればもっと応募点数は増える。
○作品のレベルは上がっている。どうにもならない作品が少なくなった。
○30回ぐらいにはアジア諸国からの出品も有るような国際的なコンペにしたい。
○ＫＤＡとしてはコンペを収益事業としてはっきり位置づけ、企画段階から練り直してはどうか。委員会組織を作り、企業等の参加も積極的に呼び掛ける。
○今回、テキスタイルの平面デザイン作品の応募が激減した。応募要項の変更で、出品出来ないと解釈されたのではないか。
○招待作家をたてるとイメージアップにつながる。
○「京都デザインコンペ」のネーミングは他府県にとって付加価値を感じさせる。

《審査・審査員》について

○審査にかける時間が短かった。一次審査に１日は欲しい。
○協議方式は今後も取り入れていきたい。
○外部審査員はそれぞれのジャンルの人々へＰＲしてくれる。

以上の感想、意見が出たが、展覧会会期中にも様々の意見を聞き、会期後委員会を開催し今後の方向を検討していく事になった。

受託事業委員会より

受託事業委員会では、長浜ちりめん工業組合の有志でつくる“あかつき会”の要請を受け（ＫＤＡニュース前号で出会いは紹介済）『「長浜地場産業」及び長浜ちりめんを含めた新商品企画　地域活性化計画ＭＥＮＵ』を作成し本格的に活動を開始した。

計画では

10月４日（火）長浜現地調査
10月24日（月）講演［勉強会］
11月10日（木）浜ちりめん素材、異素材、新素材及び新商品の検討
11月30日（水）レポート提出

となっており、本郷副理事長、嶋常務理事、黒竹理事が（社）京都デザイン協会　長浜活性委員会を組織しこれに当たっている。

●１９８８年１２月５日号　No.０１
●発　行　（社）京都デザイン協会　ＫＤＡ－ＮＥＷＳ委員会
●事務局　京都市東山区祇園町北側　ＡＢＬ３階　〒605
ＴＥＬ075(541)0239　ＦＡＸ075(525)0294

KDA-NEWS

KDAサロン

Jazz Festival!!

ちょっぴり早いクリスマスパーティー







去る１１月２８日（月）午後５時より、四条木屋町上るイマージアムビル３Ｆのジンジャンクラブで ＫＤＡサロン『ＪＡＺＺ　ＦＥＳＴＩＶＡＬ』がちょっぴり早いクリスマスパーティ・忘年会として開かれた。

この企画の目玉は、知る人も多い三条京阪前にあったナイトクラブ「ベラミ」の専属フルバンド（現在は「京都ジャズポップスオーケストラ」として活躍中）が生演奏を聞かせてくれるという内容。ＫＤＡ会員を中心に友人・知人１００名を越える参加があり大盛況だった。

今西理事長代行、本郷副理事長の挨拶でスタートしたパーティ、多くのご来賓の中から京都府商工部染織工芸課理事　南恵美子氏、京都市経済局伝統産業課課長　西口光博氏にご挨拶を頂いたあと、萩原（旧姓　田中）さんが事務局を退いたので、長年にわたるご苦労に感謝して花束贈呈、後任の諸江さんの紹介を今西理事長代行がおこなった。続いて田積常務理事より新入会員の門脇氏、新入賛助会員の株式会社平安光業の紹介があった。

「Ｋ．Ｊ．Ｐ」の軽快かつ迫力ある演奏に会場は熱い熱気に包まれて一つになった。「Ｋ．Ｊ．Ｐ」の演奏はアンコール曲を含めると29曲にもなった。懐かしい曲ばかりなので全曲目を御紹介したい。

Ｉ部「イン・ザ・ムード」「センチメンタル・ジャーニー」「Ａ列車で行こう」「マイ・フーリッシュ・ナイト」「１２番街のラグ」「ザ・マン・アイ・ラブ」「オー・シャンゼリーゼ」「かくて天使はうたう」「アメリカ

88. 12. 5号 No.02
KDA-NEWS



ン・パトロール」「メモリーズ・オブ・ユー」「ブルース・オン・パレード」「スマイル」「ベイシー・ストレイト・アヘッド」

Ⅱ部「茶色の小びん」「思い出のグリーングラス」（お客様の寺田氏がボーカル）「ダイアナ」（お客様の大和氏がボーカル）「スターダスト」「レジャンブルース」「慕情」「真珠の首飾り」「ムーンリバー」「バニアード・ブルースノ」「Two O'clock jump」「イン・ア・センチメンタル・ムード」「レッツ・ダンス」「いそしぎ」「シング・シング・シング」「グッバイ」アンコール曲「ペンシルバニア・65000 」

親睦委員会（大木ミヤ子担当理事　樽家紀治委員長　山本唯与志副委員長　園部正晴　小川富誉　堺映祥　各委員）を代表して大木理事が「Ｋ．Ｊ．Ｐの素晴らしい演奏を聞いて青春時代を思い出させていただきました。多くの皆様のご参加ありがとうございました」としめくくりお開きとなった。



西口課長



萩原さんご苦労様でした



楽しくダンスタイム



山本氏



樽家氏



門脇氏



萩原さん友人と茨木氏



大木さんと小川氏諸江さん



嶋氏と友人

88. 12. 5号 No.03
KDA-NEWS

第５回理事会より

［開催日時］昭和６３年11月28日（月）
午後４時～５時
［開催場所］イマジアムビル３Ｆ

＜出席理事＞今西慧　本郷大田子　嶋高宏
藤田頼伯　鈴鹿芳康　若林温子　奈良磐雄
山本竜一　熊谷實　大木ミヤ子　中村隆一
南澤弘　田積司朗　宮川万樹夫
＜委任理事＞柴田献一　阿部コウイチ
尾崎要　恩地惇　久谷政樹　黒竹節人
＜欠席監事＞藤川延子　富家宏泰

第５回理事会は「ＫＤＡサロン」の開かれるイマジアムビル３Ｆ“ジンジャンクラブ”で開催された。

■第27回京都デザインコンペ'88 の成果について

第27回京都デザインコンペ'88 の総括及び第28回京都デザインコンペに向けての企画を委員会（中村隆一担当理事　鯛天成雄委員長　沢井敬子副委員長　谷口啓史　小椋輝勝　井上捷之各委員）で早急に立て理事会に計ってもらうことになった。

■ファッション市民大学委員会（鈴鹿芳康担当理事）よりの報告

第12回ファッション市民大学の開催計画がまとまった。

テーマ　ＢＡＣＫⅡ京都
「東と西　和と洋　男と女の三角関係」
日　時　1989年２月22日（水）１時～５時
場　所　京都商工会議所講堂　定員 350名
入場料　一般 2,500円　学生 2,000円

前回までは数日にわたり開催してきたが、今回は参加しやすいよう１日とし、内容を凝縮する方向で企画した。

これについて理事会で了承すると共に、今後の具体化に向け委員会（寺谷玲委員長　津守順副委員長　六渡満委員）で検討を重ねてもらうことになった。

■各委員会活動報告書を早急に提出してもらうことになった。

■デザイン会議について（今西副理事長より）　京デ協が主催する「京都デザイン会議」が来年３月18日（土）午後開かれることになった。具体的内容等の詰めは12月２日（金）開かれる協議会からスタートする。ＫＤＡは幹事団体なので企画立案、実施に積極的に参加協力していくことになる。デザイン会議委員会（山本竜一担当理事　みねゆうこ委員長　今川慶子副委員長　寺谷玲　堀木エリ子委員）を中心に実働願うことになる。

■一般報告

・各種送付物が届いている、各自閲覧する。

■その他

◎理事長代行の依頼について（今西副理事長より報告説明）
柴田理事長より、病気療養のため今西副理事長に理事長代行を依頼する旨の書面が届いた。12月27日（日）今西、本郷副理事長がお見舞いに伺ったところ、お元気ではあったが、しばらく療養しなければならなくなったので、よろしくお願いしますとのことでした。
理事会で承認し、今西副理事長も理事長代行を承諾した。

◎全国工芸代表者会議に対する協賛名義使用並びに協賛金（３万円）交付願いについて（本郷副理事長報告説明）
事後承諾を求めることになるが、理事会に計る時間が無かったので常務理事会で検討した結果受理することにした。
理事会でこれを承認した。

◎株式会社平安光業より賛助会員入会の申出があった。（柴田理事長の推薦）

'88. 12. 5号 No.04
KDA-NEWS

理事会でこれを承認した。

◎株式会社スタジオハイドパーク門脇英純氏より入会申込みがあった（賛助会員株式会社光陽の吉村氏、尾崎理事推薦）理事会でこれを承認した。

◇門脇英純氏プロフィール◇

昭和34年10月生。株式会社スタジオハイドパーク取締役営業部長・企画室長。商品企画、プランニングのエキスパート。

■ＩＴＦ'89 開催について（今西副理事長の報告）

ＩＴＦ（国際テキスタイルデザインフェアー）'89 が来年開催される。京デ協が共催団体となっているので京デ協の幹事団体である我がＫＤＡも協力することが出てくる。前回はチケット販売に関する割振りがあったが、今回それは無いという話になっている。

何とかなるかな？

理事長代行　今西　慧

先日、柴田理事長が少し体調をくずされました。現在は通院ご静養中だそうです。ＫＤＡよりお見舞いはさせていただきました。

で、とりあえず私に理事長代行役をとご指名があり、理事会でご承認をいただきました。

ハイ、当分の間やらせていただきますと神妙にお受けはしたのですが、当分の間とは、年末年始、寒の内くらいだと心得ています。節酒禁煙的聖人君子に豹変された元気な柴田理事長を一日も早くお迎えしたい気持ちなのです。

ですから、理事長代行の正式なお知らせを各方面にお出しすることは自粛して、当分の間、ＫＤＡ内外の方のお声を機会あるごとにお聞きして、帰ってこられた理事長に進言し、今後の運営にいかしていただこうと考えています。

そんなわけで、紙面をお借りして「この一年、皆様には大変お世話になりました。来年はよりいっそうよろしくお願いいたします。」と型通りのごあいさつを申しあげたい。これが正直なところです。

（１９８８．１２．１　誕生日の日に）

ＫＤＡサロン田積担当常務理事のレポート

先日のＫＤＡサロンは、10月26日に開いた年間サロン計画のためのサロン委員会（樽家、山本、小川、園部、田積同席）で企画決定、１か月程のあわただしい準備期間（途中経過省略）の後、この催しは成功の声を聞き終了しました。

サロン委員は今期、おもいきり変身したプランを考え、会員相互のコミュニケーションをはかり、又会員増強などプラスαの催しにしたいと張切っています。次回の催しにもぜひ参加下さい。

☆新年会・プレスリーを聞く会・保津川下りと「吉兆」食事会・桂離宮と湯ば料理・（ゲスト招く）下鴨神社観月会・広河原の松上げ・乗馬体験とウエスタンを聞く会・宮川一夫のカメラマン一代記・名作美術展鑑賞の少しは歩いてみませんか等。他に楽しい催しがあればサロン委員会まで連絡下さい。

（１２月５日東京出張先より　田積）